

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

## 一般質問＜個人＞発言通告書

令和4年8月22日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 田崎あきひさ

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p><b>決算全般について（長久手市決算審査意見書から）</b></p> <p>(1) 行財政運営について(修繕費)</p> <p>ア ほとんどの公共施設で結果として必要な修繕費の予算が計上されていないため、実施すべき修繕ができていないので、予算編成方法の見直しをすべきだという点について市の見解を問う。</p> <p>イ 修繕費は任意の経費ではなく、施設があれば必要となる義務的経費であり、その財源を確保するためには、任意的経費の縮小、廃止、基金の活用などあらゆる方法を検討して措置すべきであり、早急に短期修繕実施計画を策定、予算措置方法を改善し、各施設の修繕の促進を図るという点について市の見解を問う。</p> <p>(2) 年度途中のごみ袋の値上げ提案等について</p> <p>ア 令和3年8月号の広報誌でごみ袋の大幅な増額案が公表されたが、当初予算の議案や記者発表資料、市長の施政方針においても触れられておらず、全戸配布チラシの作成配布費は当初予算には計上されていない。既決予算の流用により実施されたもので、市民に大きな影響のある事業については、予算計上、発表、議会の審議、議決の正式な手続きを経た上で実施すべきという点についてどう対応するのか。市の見解を問う。</p> <p>イ ごみ処理経費において財源が不足する場合の財源確保として手数料の増額を考えるのではなく、市が実施している任意の事務を総点検し、ごみ処理のために不</p>	

	<p>足する財源に配分替えを行うことの検討も必要だという点について市の見解を問う。</p> <p>ウ ごみ袋の値上げ以外においても、近年、施設使用料の改定やNーバス料金の見直し、古民家の移築など、市の検討が不十分なことで再検討することとなった事例が多く発生している。再検討を行うには、人件費を含め、更なる経費の支出が発生している。市は、財政状況が厳しく施策に振り向ける財源が少ないと言っておきながら、こうした再検討のための無駄と考えられる経費の支出をどう説明して行くのか。市の見解を問う。</p> <p>エ 市民生活に大きな影響のある事業の予算執行が、流用という市の内部の判断で実施されている。市が考えていること、検討していることは、調査費、検討費として、金額の多寡に関係なく全てを予算に計上、議案書に記載し、予算発表時の資料に載せるなど、市民に分かりやすく丁寧に説明すべきであり、議会の審議、議決を経ることが必要だという点についてどう対応するか。市の見解を問う。</p>	
2	<p><b>養育支援訪問・家事育児援助について</b></p> <p>令和4年度新規施策「養育支援訪問・家事育児援助」は児童虐待のリスクがある要保護・要支援児童として支援しているケースのうち、養育について支援が必要な家庭に対し、居宅にヘルパーを派遣し、適切な養育の実施を確保するものである。</p> <p>(1) 要保護・要支援児童として支援している数は何件か。  (2) 派遣の判断・期間の決定についてどのようか。  (3) 対象家庭の把握経路・特徴についてどのようか。  (4) 今後の課題はどのようか。</p>	
3	<p><b>L I N E公式アカウントについて</b></p> <p>(1) 新型コロナワクチン接種の予約情報及び感染防止対策等の情報のみを発信しているL I N E公式アカウントの拡張予定について今秋頃を目途に実施する旨の答弁であった（令和4年第1回定例会）。いつ具現化するか。  (2) その際には、バス時刻表、ごみ出し情報、子育て情報、防災情報など各種情報を集約すること、そして公共施設予約や各種オンライン申請を可能にすることを求めたが、具体的な内容についてどのようか。</p>	

## 市長の施政方針にあげている事業の進捗について

- 4
- (1) 令和4年度は下川原下山1号線や宮後隅田1号線において、歩行者交通の安全確保の点から連続した歩道の確保や道路の拡幅を行うため、前年度に引き続き必要な用地購入を行うとしているが、その進捗とそれぞれの完了目途についてどのようなか。
  - (2) 令和4年度は地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するための包括的支援体制づくりの一環として、新たな相談情報連携の仕組みづくりを検討しているが、具体的に何をしているのか。
  - (3) 地域住民が気軽に立ち寄れ、相談窓口としての機能も備えた居場所づくりを推進していくとして、地域資源を活用し、小さなコミュニティ単位で健康相談ができる「地域の保健室」の取り組みを推進していくとしているが、具体的に市内何カ所で何をしているのか。
  - (4) 令和4年度は災害への備えとして、災害時の医療救護所となる保健センターへ非常用自家用発電機を設置し、施設の防災機能を強化するとしている。市が指定している避難所での非常用自家用発電機の設置状況を問う。
  - (5) ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングについて対象となる団体の範囲を拡大し、市内で活躍している団体にも広くこの制度を活用してもらい、市民の税金を財源とする市からの補助金以外にも事業費を獲得できるようにすることで、これらの団体活動を積極的に支援していくとしているが、令和4年第2回定例会の時点では応募できる団体について整理が必要な旨の答弁であった。その後の取りまとめについてどのようなか。
  - (6) 2022年11月1日に愛・地球博記念公園に「ジブリパーク」が誕生する機会をとらえ、自然との共生や緑化の推進など、みどりあふれる魅力あるまちづくりを一層推進していくとしているが、市長がこれまで発言していた公園内のごみ対策についてどのようなになっているのか。また、直近の渋滞対策についてどのようなか。